

「よく学び、より鍛え、よりよく挑む」 児童生徒の育成



与保呂川沿いの桜が4月の声を待ちきれずに見事に咲き誇り、本格的な春の風に包まれて新年度が幕をあけました。感染症に悩まされたこの数年でしたが、その中で得た教訓を生かしながら、新しい一步を踏み出す年度の幕開けです。今年度もよろしくお願い申し上げます。

京都府立舞鶴支援学校行永分校は、京都府立こども療育センターの移転に伴い北吸分校と平成28年に統合されてから8年目を迎えました。隣接する独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センターに入院、または、京都府立舞鶴こども療育センターに入所している病弱・肢体不自由の児童生徒がともに学ぶ学校です。子どもたちが毎日元気に登校し、笑顔いっぱい学習して生き生きと学校生活を送ることができるよう、隣接する両センターと緊密に連携し、それぞれの子どもが自分らしくその力を発揮して生活できるよう努めてまいります。また、子どもたちの状況を丁寧にアセスメントし、個別の指導計画に基づいて、基礎基本を大切にしながら個に応じた指導を行います。さらに、舞鶴支援学校本校と一体となって進める「コミュニティ・スクール」の取組において、学校運営協議会等において各方面から学校と地域をつなげる様々な御提案と力強いエールをいただいたことを生かし、今年度も人・文化・環境等の資源を存分に活用しながら、子どもたちのよりよい自立と社会参加の実現に向けて教育活動を進めてまいります。

令和5年度は小学部1名、中学部1名の新入生を迎えました。本校の校訓「よく学び、より鍛え、そしてよりよく挑め」の言葉にあるように、学びの場としての役割はもちろんのこと、様々な視点から子どもたちを磨き、高め、新たなことにも臆せず立ち向かっていく力をぜひ育てていきたいと考えています。

今年度も保護者の皆様をはじめ、医療、地域、関係機関の皆様のより一層の御協力と御支援を切にお願いし、御挨拶とさせていただきます。

校長 山本 直之